

令和5年度第1回「関西広域産業ビジョン」推進会議 概要要旨

- 【日時】 令和5年9月29日(金)15時から16時30分
【場所】 立命館大学 大阪梅田キャンパス 5階 演習室2・多目的室
【出席者】 別紙名簿のとおり

【議事】

- (1) 座長選出と座長代理の指名について(資料1)
- (2) 令和5年度広域産業振興局事業の中間報告並びに令和6年度広域産業振興局事業及び予算(案)について(資料2)
- (3) 事業評価項目について(資料3)

【委員からの主な意見】

(2) 令和5年度広域産業振興局事業の中間報告並びに令和6年度広域産業振興局事業及び予算(案)について

- ・ 論点は、5年度事業の課題や改善点、6年度事業の予算について、ビジョン改訂の将来像を踏まえつつ、取り組むことが望ましいのかという視点。
- ・ 次年度の予算について、柔軟に事業を廃止したり、新しい事業を立ち上げたりしていくのは非常に良いと思う。
新規で万博関連事業が増えているが、あくまで産業振興なので、万博のPRが目的ではない。万博関連でどのように産業振興につなげていくのか、イメージ、アイデアがあれば教えてほしい。
- ・ 関西スタートアップエコシステム情報発信事業について、アクセス数はもちろん増やしていかないといけないが、スタートアップ同士をマッチングして、新規のスタートアップ企業が事業を伸ばしていけるかということが最終的な目的だと思うが、その取り組みや成果はあるか。
データベースシステムへの登録が目的ではなく、個々の事業として成果をいかに可視化していけるかが重要だと思うので、登録した企業に個別に問い合わせる等も含めて、何らかの成果の刈り取りができるようなやり方を検討してほしい。

- ・ まずは知名度をあげるということなので、追加の目標指標を設定するなど、次のステップを考えることが大事。
- ・ スタートアップ側も大企業側もニーズが変わってきて、ピッチイベントにも集まりにくくなっている。

大企業も自分たちの事業に沿って、自らスタートアップを探すような状況になっている。データベースがスタートアップを探す上でより役立つものになればいいと思う。
- ・ 関西広域連合の役割としては、地域のブランディングといった面的な情報発信と、公設試の連携といったプラットフォームの取組みが大きな柱。

これらの役割は関西広域連合だけでは完結しないので、外部組織との連携や情報共有が重要。その中で各取組みの目標を追っていく。関西広域連合で全部取り込むのは無理。それぞれの役割を上手くつなげていくのが関西広域連合の役割だと思う。
- ・ 他組織と関西広域連合とのすみ分けについて意見があったが、そもそも予算が少ない中で、関西広域連合として何をやっていくべきかの判断が重要である。また、予算に新規で何か入れ込めるものがあるか。
- ・ 関西広域連合として何がやれるか。予算が現実とするならば、理想を議論しながら現実を見るべき。取組みの中で分かりやすいのは公設試の共通利用。これは成果として挙げられる。

また、情報収集・情報発信をメインに取組むべき。他には人材育成・交流の取組みはどうか。

関西の構成府県市で取組む際にやりにくい所はかなりあるのではないかな。

あとは関西らしさ。メディカルジャパンにしても、関西の特徴的な取組みであり、関西広域連合が一番に手を挙げたが、いつのまにか首都圏が中心になっている。バイオジャパンへの出展も、できるだけ関西の企業に呼び掛けてほしいし、バイオジャパンを関西に持ってくるような意気込みでやってほしい。
- ・ 全ての事業に言えることだが、例えば「from NOW ON KANSAI」について、どういう成果がでてきているのか。情報発信として大事だと思う

が、存在理由があるというエビデンスがほしい。

- ・ 来年度、医療機器分野の相談事業をやめるとの方針が出ている。理由としては広域連合で取り組む必要性が乏しいとのことだが、具体的には相談が関西広域連合域内よりも外からの相談が多いからか。

取組みをより広めていくにはどうしたら良いかを考えたときに、スタートアップやライフサイエンス、先端産業については、どうしても京阪神が中心になってしまうが、地域を引っ張っていくのは重要なことなので、引き続き実施すべき。

加えて販路をどう開拓していくかも重要。今もやっているが、取組みを充実させていくことで各地域への広がりが出てくる。ものづくりだけでなく、農産品等、様々なものを国内外に発信していくべき。

- ・ 中小企業にとっては、先端産業のことより今をどうするか、これからどうするかを考えている。その辺もふまえて、関西広域連合の取組みを進めていってほしい。
- ・ ビジョン改訂の中で示されている、めざす将来像、チャレンジと、予算の中身がリンクしにくい。関西広域連合自体の役割としては、実務的な事業をやるよりも、調査研究・情報発信にして、あとの事務は構成府県市に任せるのもあるのではないかと思う。割り切ったほうがすっきり流れていくのでは。

(3) 事業評価項目について

- ・ 追加的な提案を踏まえ、この方向で試行的にやってみて、また磨き上げるということになる。

以上